



男体

第35号
平成16年11月1日発行

第35回 栃木県カブラリー



10月17日(日) 第35回栃木県カブラリーが、宇都宮市総合運動公園において、開催されました。

秋晴れの空の下、県内各地より約850名のビーバー・カブスカウトが一同に集まりました。

開会式の後、午前中は会場内ばなばなの森に設置した遊具で、思う存分楽しみました。

この遊具は、8月の第6回日本ベンチャー大会県内4ヶ所の活動基地で作ったものを、前日から県内のベンチャースカウトと指導者で、準備しました。

昼食をはさんで、午後1時からはまだ1ヶ所に集まり、今回のテーマ「里山のたいしょう」友情ゲームが始まりました。(詳細は2ページの記事にある通り)

最後には大きな「里山のたいしょう」を中心とした里山の四季の様子が出来上がりましたが、あまりにも大きなため、その一部分をワッペンにして持ち帰ってもらいました。



目次	
カブラリーペイントチーム	2
スカウトフォーラム	3
WB研修所CS栃木24期	4
北部・東部地区指導者講習会	4・5
定型外訓練について	5
県キャンポリーにむけて	6
隊長のひとりごと・・・	7
事務局のうごき	8

「里山のたいしょう」友情ゲーム 友達たくさんできたかな？

東部地区指導者

友達たくさんできたかな、パズルはうまく合ったかな、900ピースのパズルを合わせると里山の四季の風景が一面に浮かび上がったの見たかな。

ひとりが、ひとつの牛乳パックを持ち寄って、その牛乳パックが1ピースになって、10ピースの大きなブロックができ、ブロックを積み重ねて一枚の壁が出来、里山の風景が完成しました。

1つひとつは小さいけれど、こんなにたくさん集まるとすごいんだな、みんなで力を合わせると何か大きな事が出来そう、何でも出来そう、そう感じた人もいます。ひとつのピースが足りなくてちょっと残念、どうしたんだろうと感じた人、せっかく組み上げたのに壊れてしまって、あーあ残念と思った人、みんないろいろ感じていたと思います。

再度組み上げて完成したものをゆっくり見てもらうことが出来て、スタッフ一同胸をなで下ろしています。



友情ゲームパズルはどうでしたか。東部地区の女性ペイントチームにより、準備を進めてきましたが、喜んでもらえるとても幸せです。準備を始めたのは7月の末からで、週1回のペースで集まりデザインを決め、下絵を書き、色を付けて1枚のシールに仕上げていきました。当日は何人のスカウトが参加してくれるだろう、ピースは余ってしまうのか、それとも足りなくなってしまうのか直前まで気をもんでいました。

予想以上の参加で、すべてのピースが参加者の手に渡り、進行も思ったよりはスムーズに運び、アクシデントも多少ありましたが、皆さんには褒めていただけるのではないかと思います。

これからも友情を広げる機会があったらどんどん参加して、友達をたくさんつくってください。



カブラリー
ペイントチーム
杉本万里子
鈴木真由美
戸部浩子



閉会式後、約1000個分の牛乳パックをリサイクルするために切り開いているところ。

・・・夕暮れ間近、山の上にて・・・



やった～！完成した～！ と思ったら次の瞬間ハブニングが・・・

習会開催

栃木県連盟スカウトフォーラム

本年も10月24日県連会議室にて、14名の県内ベンチャースカウトの参加を得てフォーラムが開催されました。

『世界の仲間と共に』-平和 めざせベンチャー平和の騎士を!!-をテーマに、事前に募集したフォーラム実行委員会(ベンチャースカウト)が中心となり進行を進め、討議題目「僕らの考える平和の基準」として2つグループに分かれ、討議が進む形となった。

運営すべてを実行委員を中心としたスカウトの自主運営に任せためか、活発な意見交換の様子が隣室に居ても聞き取れる程であった。せっかく机と椅子のある会議室でやっているにも係らず床に車座になっての討議は現代ベンチャースカウト諸君の気風か？また現代青年の一面をかいま見た感じであった。

初対面のスカウトがほとんどであったが、いきなり打ち解けるのは指導者が介入せず自らの自主運営だけではなく、彼らが仲間を欲しているからだろう。その証拠に一人で参加しているスカウトも若干名いたが何のわだかまりもなく打ち解けていた。我々VS指導者も、もう少し現実に目を向ける必要を感じたひと時であった。



全体討議の後「行動を起こすための勇気と意思を持とう」を採択事項とし、県代表スカウトには、鹿沼1団の藤田祐基くんを代表し選出した。話は前後するが、午前中の基調講演「スカウト運動を振り返る」では、BPがブランシー島で子供たちにゲームを指導している写真やマフエキングでのBPの写真、腕時計を最初に利用した軍人としてのBPの逸話などはスカウトにとっては驚きのようなだった。また、栃木県がスカウト運動に係っている話など初めて聞くようだが勉強になったようだ。

最後に相次ぐ実行委員のキャンセルにも係らず最後までガンバッテ、フォーラム進行をしてくれた那須7団の佐藤くん・今市2団の木村くん・安蘇1団の岡田くんの各ベンチャースカウトに感謝いたします。

県プログラム委員長 高尾 一



W B 研修所 C S 課程 栃木 第 2 4 期

9月23日～26日に田沼町作原グリーンスポーツ施設において、ウッドバッジ研修所CS課程栃木第24期が開催されました。
県外からの参加者も含め16名の参加がありました。

自己発見のチャンス到来！ (ウッドバッジ研修所CS課程栃木第24期に参加して)

佐野第4団BVS隊長 津布久義秀

突然の誘いに迷うことなく、作原の自然の中での研修に参加しました。かつて20数年前、この施設は、小学校でした。新任教師として赴任した場所であり、あまりにも偶然の出会いに身が引き締まる思いを感じました。

研修所は、これで3度目ですが、今回は、一番充実した研修であり、半世紀の人生を送ってきた自己を見つめ直す機会となりました。特に、カブスカウトプログラムの作成は、私の頭を白紙にしました。3年間の学年差、組集会和隊集会の関連、修得課目と選択課目等、まさにクロスワードの迷路に入り込み、カブスカウト活動の奥の深さを学びました。

しかし、研修所で学んだ理論や実技もさることながら、スカウト活動を実践している仲間と悩みや夢を語り合う時間の中で、これから自己をどう生きるかを模索する機会を与えていただきました。

そして、何よりも、作原の自然、共に同じ道を歩む仲間達、すばらしい研修プログラムを提供していただいた最高のスタッフの皆さんとの出会いが、私自身のこれからのボーイスカウト活動への更なる一歩を踏み出すエネルギーを与えてくれました。

最後に、白澤所長さんのお話にありました佐野常羽先生の清規三事である「実践躬行」「清究教理」「道心堅固」が今でも脳裏に残り、これから自己発見のチャンス到来と感じ、追求してみようと思います。



北部地区指導者講習会開催

10月31日(日)、南那須少年自然の家において、北部地区指導者講習会が開催されました。

当日の参加者は6名でしたが、各セッションをメモを取りながら、真剣に受講されていました。

受講者の皆様には次のステップに進まれることを期待します。

スタッフの皆様、御苦勞様でした。



9月12日(日)、河内町中央公民館において、東部地区の指導者講習会が開催されました。今回の講習会は出井肇主任講師以下東部地区内4名の講師、その他開催業務スタッフのもと、14名の参加者がありました。

参加者はスカウトの保護者、スカウト経験者、既にデンリーダーなどで活躍されている方、また、いままで殆どスカウトに関わったことのない方など、様々でしたが、皆さん熱心に受講されていました。

更なる自己研修に励まれることを期待します。



今年度後期の定型外訓練について

開発委員長 白澤 嘉宏

開発委員会では、定型外訓練を開催するに当たり、

- 皆様のneedsと各種事業との連携を図ること
- 県連・地区との協働（collaboration）によること
- 多くの方が『共にかかわる』すばらしさを実感すること

を大切にしていきたいと考えております。

6月には、6NV栃木基地E群「冒険広場がまちにやってくる」においてパイオニアリング活動を支援できる指導者の養成を目的として、『パイオニアリング研修会』を開催しました。南部地区との共催により、31名の方に参加いただきました。

今年度後期は、スカウトソング研究会と県キャンポリー連携プロジェクトを開催する予定です。

昨年、好評を博し、2年目となるスカウトソング研究会は、平成17年1月30日(日)、西部地区(今市生涯学習センターを予定)へおじゃまする予定です。『出前講座』的な性格をもった事業であり、外部専門家と県連トレーニングチーム・ソング研究チームによりプログラム展開をします。今年は、ビーバー・カブスカウトの歌を中心にアクションソング等を織り交ぜていく予定です。

県キャンポリー連携プロジェクトは、来年8月に開催される『栃木県キャンポリー』に向け、主としてBS隊指導者支援を目的として、各地区ごとに開催する予定です。他の地区と同じ内容になることもありますが、地区によって違って来る方が自然と言えるでしょう。大切なことは、各隊及び地区で今必要な研修は何かを話し合い、タイムリーな企画をすることです。そのためには、地区ラウンドテーブル等を活用して皆様方のneedsを反映していきたいと考えておりますので、地区開発委員会へご要望をお寄せいただければと思います。

定型外訓練は、明日の社会を担う青少年のための“大人”の研修の場であり、①自己探求(充電)、②自己表現(放電)、③相互交流(つながり合い)の場でもあります。学ぶこともあれば、ときには、自分も何かを提供できることもあるでしょう。そして、目的を同じくする仲間同士の交流を促進し、社会にスカウティングの輪を広げていくことが、開発委員会の大きな役割と考えております。



平成17年度 県カンポリーに向けて・・・

今から30年くらい前。確か、私がハヤブサ班の次長だった頃だと思います。

県カンポリーだったか、何の大会だったかまでは覚えていませんが、ナスカの森で、いろいろな隊のボーイが集まってキャンプをしているときでした。テントの脇で、班長や他の班員と小さな焚き火を囲んで、当時のアイドルだったMちゃんやJちゃんのことで盛り上がっているときに、テント脇の森の中で、密かに話している声に誰かが気がつきました。全部は聞き取れなかったのですが、「てんぐ」「・・・さくらしい」「・・・をほうのう」「あすの・・・」などという言葉が聞き取れました。

翌朝、他の班にも聞いたところ、同じような話し声が聞こえたようで、「・・・どう」「・・・よる」「はなが・・・」と聞き取れたそうです。そこで、皆で聞き取った言葉を組み合わせてみると、「明日の夜、天狗堂に、花が咲くらしい」となるのですが、「・・・ほうのう」だけがつながらないでいました。そのとき、隊長が「何を話しているんだい」と聞いてきたので、皆で昨夜のことを説明すると、「それはたぶん『お守りを奉納する』のことだろう」と言ったのです。「えっ!？」というとき、隊長が「確か、30年前に、天狗堂の近くで咲く花を観た。そのときもボーイでキャンプをしているときだった。不思議な花だった。でも、観られて良かったと、今でも思っている」と言い出したのです。

確かに、キャンプしていた場所の近くには天狗が守っているとされる「天狗堂」がありました。すぐに天狗堂に行ってみたのですが、花が咲くような気配もありませんでした。戻って隊長に聞いてみると、「隊長のところには昨日の夜、こんな物が落ちていた。もしかすると、これがお守りかもしれないので奉納してみれば」と出してくれました。「こんな物」はちょっと変な形をしていたのですが、班ごとに天狗堂に持って行って、置いてきました。

その夜、天狗堂に行ってみると、不思議な花が咲いていました。その花を観たときに、中学生ながら、ものすごく感動したことだけは今でも覚えています。

あれから30年。来年には同じナスカの森で県カンポリーが開催されます。周期的なことを考えると、県カンポリーのときに花が咲く時期のようです。夜のヒソヒソ話は天狗の会話だったのかもしれませんが、でも、県カンポリー本番で気持ちと時間に余裕がないと、天狗の会話が聞き取れないかもしれません。今からスカウト技能を磨いて、県カンポリーが楽しめるように準備してください。

また、皆さんの団の中で、「ナスカの森に咲く花を観たことがありますか?」と聞いてみてください。きっと、観たことがある人がいるでしょう。

ナスカの森に咲く花 今、久しぶりに花が咲こうとしているらしい



県副コミッショナー

中村 哲也

隊長のひとりごと……

ある日、集会が終わってからのリーダー達の話。

「今年は、何人上進するんですか？」

「えーと、7人かな」

「まあまあの上進率ですね」

「それもそうだけど、カブに入隊する子も毎年減ってるね。」

こんな話のやりとりがあった。そのことが頭の隅に何故か残った。

家に帰ると、「お父さん、お買い物に行くから車出して」と、妻の声。行きつけのスーパーに着くと、店内はお客さんで一杯。

顔馴染みの店長に、「すごいお客さんですね。」

にっこり笑って店長が、「有難うございます。今は競争の時代ですから、お客様に魅力のあるプランや企画で営業しないと、競争に負けてお客様が来なくなってしまうからね。」と聞いたとき、頭の隅で『パン!』と小さく何かが割れた。

これだよ、スカウト活動だって同じだ。子供達が「喜ぶ事」「好きな事」

「興味のある事」「ワクワクする事」を考えて集会でやれば、スカウト達は集まって来るぞ。もっとスカウトの身になって集会の内容を考えればよかったんだ、指導者側の問題だったのか。

すると隣にいた妻が「問題？何さっきからぶつぶつ言ってるの。問題はね、卵が私たちの分まで残っているかよ!」と、にこっと笑った。

やっぱり、君は我が家の隊長だ。

河内1団 カブ隊長 地神元陽



県ベンチャースカウト大会 活動チーム員大募集!!

県プログラム委員会では、平成17年3月19日～21日に那須野営場で開催される「栃木県ベンチャースカウト大会」の活動チーム員を募集しています。

ベンチャースカウトとともに楽しみたい指導者の皆さん、あなたの隠された才能を思う存分発揮してみませんか。

活動チームに入って活躍したい方は、県連までご連絡ください。



事務局の動き

平成16年

- 9月 4日(土) 理事会
- 9月 4日(土) 富士章面接
- 9月12日(日) わくわく夢体験の船実行委員会
- 9月12日(日) 東部地区指導者講習会(河内町)
- 9月19日(日) カブラリー実行委員会
- 9月22日(水) プログラム委員会
- 9月23(木) WB研修所CS課程栃木第24期
- ~26日(日) (田沼町 作原グリーンスポーツ施設)
- 10月 2日(土) 各種運営委員長会議
- 10月13日(水) プログラム委員会
- 10月17日(日) 第35回栃木県カブラリー(宇都宮市)
- 10月17日(日) グローバル委員会
- 10月21日(木) 開発委員会
- 10月24日(日) スカウトフォーラム
- 10月27日(水) 組織委員会
- 10月31日(日) 北部地区指導者講習会(南那須町)

今後の予定

- 11月 6日(土) 理事会
- 11月13日(土) とちぎ教育の日
- 11月14日(日) わくわく夢体験の船実行委員会
- 11月20日(日) 国際交流の夕べ(県連事務局)
- 11月26日(金) コミッショナー会議
- 11月27日(土) 全国事務局長会議
- ~28日(日) 全国ディレクター会議
- 技能章考査員講習会(那須野営場)
- 12月 4日(土) 各種運営委員長会議
- 12月 5日(日) 南部地区指導者講習会(佐野市)

平成17年

- 1月 8日(土) 新春の集い(真岡市)
- ~9日(日)
- 1月 9日(日) 理事会
- 1月30日(日) スカウトソング研究会(今市市)



作:をかもと 罍

発行責任者 日本ボーイスカウト栃木県連盟理事長 森山一政 / 編集責任者 組織委員会委員長理事 黒崎博孝 発行部数 2500部

日本ボーイスカウト栃木県連盟 機関紙

320-0043
 栃木県宇都宮市桜四丁目2番2号
 電話 028(621)9800
 Fax 028(621)9800
 Email bstochig@m14.alpha-net.ne.jp

ホームページもぜひ見てください。
[Http://ex.as.lancenet.or.jp/bstotigi/](http://ex.as.lancenet.or.jp/bstotigi/)



「男体」は地球環境にやさしい大豆を原料としたインク(SOY INK)を使用しています。